

開催
しました

男女共同参画フォーラム

岸和田市では、毎年、男女共同参画社会の実現に向けて、
市民の理解を深めるため、フォーラムを開催しています



今年は“男女共同参画センター移転5周年記念”ということで、
7月9日(日)に開催しました。

朝ドラ「あさが来た」のモデル、広岡浅子の生き方～九転十起
の人～と題し、「女子に学問は不要」と言われた時代に、幅広い
知識を独学で習得し、多岐にわたる会社の経営に携わり、女子高
等教育の発展にも力を入れた浅子の人生から、大阪の近代経済史
と女性史を紐解いていただきました。

講師 **石野 伸子さん**
(ジャーナリスト)

講師には、元産経新聞で編集局編集委員兼特別記者を歴任され
た、石野伸子さんにご登壇いただきました。

朝ドラ「あさが来た」のモデル広岡浅子の生き方 ～九転十起のひと～



91名のかたが参加くださいました

「女子に学問は不要」と言われた明治時代、浅子が京都の名門三井家に生まれたからといって、十分な学問を受けられたわけではない中、いかにして大阪の近代経済史に名を残す人物になったのかを、浅子の人生を紐解きながらご教示くださいました。

類まれない行動力を持ち、着物の時代に洋風のワンピースドレスを好んで着ていたなど、オシャレで可愛らしい一面もあったんだと、印象に残りました。

幼いころの環境が「女性のために」という信念となり、女子高等教育の発展に繋がったのかもしれないですね。

最後に、大阪の近代経済史に埋もれていた浅子の人生を、産経新聞で大型連載し、広岡浅子の火付け役ブームとなった、講師の石野伸子さんに感謝いたします。

アンケート

- 朝ドラを見たいなと思いました。浅子さんの生きた時代に自分を貴いたのは素晴らしい。
- 日本女子大創設に広岡浅子も関わっていたのに、成瀬仁蔵の名前しか残っていなかったことで、「浅子が男性なら現代でも有名なんだろうな」と思った。
- 他人に嫌味を言われたくらいで凹まず自ら信じる道を進もうと思いました。
- 女性が活躍した話をもっと聴きたい。